

12月28日 深町先生へのヒアリング

- ・子供が一生懸命描いた絵に対して、「これは子供が描いた絵ではない」とはっきり先生に言われた。もっと子供を信用し本来のものを導き出すのが教師の役目である。
- ・自由画教育は引き出す教育。
- ・当時の児童の絵は真剣さや一生懸命さが伝わってきた。
- ・昭和初期の子供達の絵は先生が指導しているのかというくらい上手。
- ・上手い絵を描けば評価されるという考え方がありテクニックで支配されてしまっている。これは教えている人（教師）に問題がある。
- ・自宅には児童が自分の思うままに自由に描いた絵が保管されている。コンクールなどに出してしまうと作品が返ってこないのを保管している。
- ・神川小山本鼎の部屋を設立した背景には、深町先生の影響が大きい。
- ・児童に美術の授業を教えていた深町先生は、児童の絵をどうにかしたいという思いから設立に至った。
- ・低学年の児童は上手い下手にとらわれず自由に描いていたが、高学年の児童は上手く描こうという意識に変わってしまっている。